

令和7年7月15日

ペーパーレス会議システム 調達仕様書

社会福祉法人^{恩賜}済生会支部
埼玉県済生会鴻巣病院

1. 調達の目的

埼玉県済生会鴻巣病院（以下、「当院」という。）では、業務の効率化および環境負荷の軽減を目的として、会議資料の電子化を推進している。従来の紙資料を用いた会議運営では、印刷・配布・管理等に多大な時間とコストを要していたほか、セキュリティの確保や資料のバージョン管理にも課題があった。こうした状況を踏まえ、会議資料の準備等の省力化、紙使用量の削減及び会議での説明への利用を目的として、情報セキュリティ対策を施したペーパーレス会議システムの導入を図るものである。

2. 調達概要

件名： ペーパーレス会議システム一式（以下「本システム」という。）

納期： 令和7年9月30日（火）

なお、納入品の搬送、施設への搬入・設置環境整備・養生・据付、必要な電源環境整備・配線等、すべて受注者の負担とする。またソフトウェアのインストール、セットアップ、保守支援、障害支援に要する全ての費用は、本調達に含まれる。

また、支払いについてはすべての納入品を納入後に、一括して支払うものとする。

詳細については「3.調達物品に備えるべき技術的要件」に示す。

(1) 技術的要件の概要

本調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求・要件（以下「技術的要件」という。）は、「3.調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。なお、技術的要件はすべて必須の要求要件とする。

(2) 技術仕様等に関する留意事項

提案するソフトウェアは、原則として提案時点で製品化されていること。なお、納入時までに仕様の変更やシステム(ソフト)のバージョンアップがあった場合、最新の仕様で設置すること。

3. 調達物品に備えるべき技術的要件

(1) ソフトウェア機能要件

① システム管理機能

- ・ 本システムは利用することができるユーザを登録することができる機能を有するものとする。
- ・ 本システムは登録されているユーザのみが利用することができるものとする。
- ・ システムを管理する権限を有する者（以下「システム管理者」という。）はユーザ登録にあわせて、ユーザグループの登録・変更を行うことができる機能を有する

ものとする。

- ・ システム管理者は利用ユーザ情報の編集及び削除を行うことができる機能を有するものとする。
- ・ システム管理者は利用ユーザの ID 及びパスワードを設定し、システム管理者によって管理することができる機能を有するものとする。
- ・ システム管理者は本システムを利用するライセンス状況の確認とライセンス増数時の更新を管理することができる機能を有するものとする。
- ・ システム管理者は本システムに登録したユーザに対し、会議開催に必要な主催者の権限を与えることができる機能を有するものとする。
- ・ 複数の会議体で本システムを利用する際は、資料の混同を防ぐため、システム管理者は会議体ごとに会議資料を保存するための機能を有するものとする。なお、会議体ごとに参加できるメンバー、権限等を変更できるようにすること。
- ・ 登録された会議体で利用する会議資料はシステム管理者により削除を行うことができる機能を有するものとする。
- ・ システム管理者は登録されている会議体の管理ファイル数、利用者の状況について、システム上で一覧にて確認することができる機能を有するものとする。
- ・ 本システムによって登録されているタブレット端末については、個体別に認証管理を行うことができる機能（以下、「個体認証機能」という。）を有するものとする。なお、ユーザ認証もできることが望ましい。

②会議主催者の権限

- ・ 各会議体のデータについて、作成及び名称変更を行うことができる機能を有するものとする。
- ・ 登録された会議体のデータに対して、利用権限（タブレット端末個体認証機能）の設定可否について指定することができる機能を有するものとする。
- ・ 会議体に対して、本システムに登録されているユーザに対し、任意に参加者を指定することができる機能を有するものとする。
- ・ 会議主催者は、該当の会議体にも有効な「会議管理者（会議全体を管理する者）」・「利用者（会議に参加する者）」・「傍聴者（会議を傍聴する者）」等の権限を指定したユーザへ付与することができる機能を有するものとする。
- ・ 各会議体で作成するフォルダ等については、会議主催者の権限で登録・編集が可能であるものとする。
- ・ 会議主催者は、会議体にて使用する資料データを登録・削除・編集（マーカー・付箋機能等の利用）することができる機能を有するものとする。
- ・ 本システムにてログ管理を行い、保存されているログデータを確認することができる機能を有するものとする。

③会議管理者の機能

- ・ 指定された会議体内にのみ適用することができ、会議体作成を除いて会議主催者と同等の権限を有することができる機能を有するものとする。

④利用者権限の機能

- ・ 資料データの登録・削除・編集（マーカー・付箋機能等の利用）を行うことができる機能を有するものとする。

⑤傍聴者権限の機能

- ・ タブレット端末にて会議体に登録されている書類の閲覧のみを行うことができる機能を有するものとする。

⑥フォルダ作成機能について

- ・ 各会議体において、会議体の管理を容易にすることが可能なフォルダの作成が可能であるものとする。
- ・ アップロードした資料は、各会議体の開催中に閲覧が可能であること。

⑦セキュリティ機能について

- ・ 各書類（データ）に対して、タブレット端末へのデータ残存可否を指定することができる機能を有するものとする。なお、タブレット端末は外部へ持ち出すことを想定しているため、データは暗号化されて保存されること。
- ・ 会議が連続し、かつ参加者が異なる場合は、その場、もしくは事前に参加者の指定が可能であり、事前に会議体への参加許可をされていないタブレット端末からは会議体へのアクセスを行うことができない機能をシステム上有するものとする。

(2)ハードウェア機能要件

①クライアントシステム機能(タブレット端末)

- ・ PDF データの閲覧及び操作を行うことができる機能を有するものとする。PDF 以外のデータ（Microsoft Word、Excel、PowerPoint、jpg、MP4 等）については閲覧できることが望ましい。
- ・ 表示する会議資料については、ピンチ操作にて拡大・縮小を行うことができるものとする。
- ・ 表示データについては、フリック操作によるページめくり・スライドバーによるページ指定を行うことができるものとする。
- ・ 表示データに対して、マーカー機能として指やスタイラスペン等により、直接加筆することができるものとする。
- ・ マーカー機能については、加筆した線の色、太さ、濃淡を任意に変更することができるものとする。
- ・ 付箋機能（オリジナルデータに任意の文字を追加できる機能のこと。以下同じ）を有し、ソフトウェアキーボード等から文字を入力し、貼り付けた付箋については、同一ページ内にて移動することができるものとする。
- ・ マーカー、付箋によって記録されたアノテーション情報のサーバへの書き戻し機能を有するものとする。
- ・ 発表者画面を参加者の画面に配信することができる機能を有し、発表者が指し示す箇所と参加者の画面を即時連動することができる機能を有するものとする。
- ・ 発表者が指し示す箇所以外の確認が可能な機能を有し、発表者が指し示す画面と参加者の意思により閲覧・書き込み等を行っている画面をそれぞれに確認できる機能を有するものとする。
- ・ 上記、「それぞれに確認できる機能」とは、参加者の画面でマルチウィンドウ機能により常時 2 画面表示が可能な構成をいう。なお、マルチウィンドウの表示場所は画面右下が望ましい。
- ・ 参加者画面のマルチウィンドウで表示された発表者が指し示す箇所は、タップ操

作により参加者の意思により閲覧・書き込み等を行っている画面に即時連動されるものとする。

- ・ 参加者画面のマルチウィンドウで表示された発表者画面は容易に全画面表示に切り替えができ、また、容易に元の画面に戻す機能を有するものとする。
- ・ 検索機能として、指定したページを表示することができる機能を有するものとする。
- ・ 外部プロジェクターへの出力を行うことができるものとする。
- ・ 付箋及びマーカー機能により装飾されたデータは必要に応じてサーバ用 PC に保存することができるようにする。この場合、原本データとは別に保存すること。
- ・ タブレット端末に保存されたデータは任意に消去が可能であること。

4. その他

(1)運用方法

- ・ 会議場所や会議の主催が毎回異なるため、タブレット端末は管理カート等を使用して管理できること。
- ・ 原則として、当院のネットワークとは独立したオンプレ型のシステムとする。ただし、将来的な運用を見越しクラウド型へのユーザ情報の移行が可能なシステムであること。
- ・ ペーパーレス会議に必要な無線 LAN 環境も併せて構築するものとする。その際、無線 LAN（無線アクセスポイント等）はカートに設置し、会議室にカートを持ち込んで会議を開催するものとする。なお、会議開催時は本システム稼働域内にある他の Wi-Fi 等との電波輻輳を起こさないよう対策が取られていること。
- ・ 必要に応じてプロジェクターに投影することもあり得るので、タブレット端末に配信しているものと同一の資料データまたは配信しているものと異なる資料データを、プロジェクターを通じて 100 インチ程度のスクリーンに投影が可能であること。なお、説明者の利便性を高めるため、タブレット端末はアダプター経由でのプロジェクターと接続が可能であること。
- ・ 職員がタブレット端末を使用して患者等に説明を行う際はオフラインでの利用を想定しているため、本システムを使用して説明用データを配信し、タブレット端末の中に資料を保存して当該端末を使用する。説明終了後は端末に保存された説明用データを消去することが可能であること。
- ・ 今後の機能拡張として外部で web サイト等の閲覧を行う可能性があるため、モバイル Wi-Fi ルータ等に接続が可能なタブレットとすること。

(2)ソフトウェアのインストール及びセットアップ

- ・ ソフトウェア（本システム稼働に必要なミドルウェアを含む。以下同じ）のインストール及びセットアップは、すべて本調達に含まれるものとする。
- ・ ソフトウェアのインストール、セットアップ及びネットワークの設定時において、障害や損傷等を発生させた場合は、供給者において対処し、原状復帰させること。
- ・ ソフトウェアのインストール及びセットアップ後は、導入システムの動作確認を行うこと。
- ・ ソフトウェアのインストール及びセットアップについては、事前に作業日程と体

制を当院に提示し、当院と協議の上、その指示に従うこと。なお、導入時には、供給者が必ず立ち会うこと。

(3)保守及び運用サポート体制

- ・ サーバは 5 年間の保守（平日 9－17 時）を含むものとする。
- ・ タブレット端末においてはメーカー保証に準ずる保守体制とし、障害窓口を当院に提示するものとする。
- ・ ソフトウェア（調達機器にプリインストールされているソフトウェアも含む）については、導入後 5 年間の保守サポートを行うこと。
- ・ 導入完了後のシステム運用については、当院の要求に応じて必要な情報を提供すること。
- ・ 導入後に生じた当該システムに関連する技術的問題点、ソフトウェアの不具合、パッチ、バージョンアップ等に関しては、情報等を速やかに提供すること。
- ・ 本システムの運用を円滑に実現するためのサポート体制が少なくとも導入後 5 年間は整備されていること。
- ・ 電話及び電子メールによる受付窓口を有すること。
- ・ 本システムを運用する上で、必要な情報の提供に努め、助言を求められた場合には迅速に対応すること。

(4)障害支援

- ・ 本システムの稼働中に障害が発生した場合は、迅速な復旧対応を行うこと。
- ・ 障害修復の後には、その原因と対策について文書で報告すること。
- ・ 当院の業務に支障を来たと判断される障害については、迅速に対応を行うこと。
- ・ 障害の切り分けの支援を行うこと。

(5)業務支援体制

- ・ システム導入後に、管理者向けの操作説明会をそれぞれ行うこと。なお、説明方法及び時期については、当院と協議すること。
- ・ 操作説明会の実施における費用は、すべて本調達に含まれるものとする。

(6)納入物

ペーパーレス会議システム 一式

①ソフトウェア

「3.調達物品に備えるべき技術的要件」に示すシステムであること。

②（ハードウェア一覧）

納入機器	備考	台数
タブレット端末	画面サイズ：11.0 インチ以上 30 台 13.0 インチ以上 20 台 OS：iOS18・Windows11	計 50 台 (うち 20 台は画面 サイズ 13.0 インチ 以上)
タブレット端末用カバー	ある程度の衝撃からタブレット端末を保護すると共に、閲覧時にタブレット端末を任意の方向より支えることが可能であること。	50 個

タブレット管理カート	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末用カバーを装着したタブレット端末 50 台分を充電可能な状態で収納可能であること。 ・ノートパソコンは、充電可否は問わないが収納可能であること。 ・ストッパー付キャスターを備え、会議室まで移動可能であること。 ・他の電子機器を利用するためのコンセントを 4 つ以上装備していること。 ・1 台のカートで収まらない場合は複数台でも可とする。 	1 式
サーバ (ノート PC で代用することも可とする)	<ul style="list-style-type: none"> ・ベース : DELL (Latitude 3540 ノート) ・OS : UbuntuREG LinuxREG 22.04,DCA イネーブラー (リカバリメディアなし) ・プロセッサ : 第 12 世代 インテル Core i5-1235U (12MB キャッシュ 10Core/Max 4.40GHz) ・メモリ : 16GB (16GB×1) DDR4 3200MT/s ・ディスク : 512 GB,M.2 2230,PCIe NVMe, SSD, Class 35 ・USB メモリを用いて会議資料のアップロード対応が可能であること (※1) 	1 台(※1)
無線 LAN アクセスポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・規格:IEEE 802.11ax/ac/n/a (5GHz)および IEEE 802.11ax/n/g/b(2.4GHz)を同時使用可 (※Wi-Fi 6 に対応していること。) ・バンド選択:5GHz:W52、W53、W56 ・伝送速度:IEEE802.11ax(2.4GHz):最大 573.5Mbps、(5GHz):最大 1201Mbps、IEEE802.11ac:最大 866.7Mbps、IEEE802.11n(2.4GHz):最大 300Mbps、(5GHz):最大 300Mbps ・認証方式・暗号化方式:WPA3-Enterprise 192bit Security (GCMP-256)、WPA2/WPA3(Mixed)-Personal(AES)、WPA3-Personal(AES)、WPA/WPA2(Mixed)-Enterprise(AES/AUTO)、WPA2-Enterprise(AES/AUTO)、WPA/WPA2(Mixed)-Personal(AES/AUTO)、WPA2-Personal(AES/AUTO)、IEEE802.1X(WEP)、WEP(64/128bit) ・フィルタ:MAC フィルタ、無線セパレータ ・通信最適化:無線バンドステアリング機能、無線通信公平化機能 ・ルータ関連機能:IP マスカレード、DHCP サーバ ・LAN/PoE コネクタ:リンクアグリゲーション対応 (IEEE 802.3ad 準拠) 	1 台(※2)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同時接続端末台数: 5GHz:最大 512 台 2.4GHz:最大 512 台(合計 1024 台) ・ 動作温度範囲が-10～+55℃に対応していること。 ・ CUD,カラーユニバーサルデザイン認証を取得していること。 ・ チャンネル変更すること無く、干渉波に対する耐性を有する設計であること。 ・ USB ポートを有すること。 ・ USB メモリを利用した設定機能を有すること。 	
その他必要物品	LAN ケーブル、OA タップなど、システム利用に必要な消耗品類一式	1 式

(※1) USB を用いて、ペーパーレス会議に使用するデータを、サーバにアップロードする際に、USB-C、USB-A に対応したポートが搭載されていることが必要となる。

(※2) アクセスポイントについては、50 台のタブレットによるペーパーレス会議において必要なデータ配信が遅滞なく行うことができる台数とすること

- ・ サーバ及びアクセスポイント設定資料
- ・ 運用マニュアル
- ・ 上記の電子ファイル

(7) 守秘義務

- ・ 受注者は、本作業を実施する過程で知り得た個人情報を含む一切の情報の取り扱いについては、当院の諸規程ならびに個人情報保護法を含む法令を遵守すること。
- ・ 受注者は、本作業を実施する過程で知り得た個人情報を含む一切の情報を与えられた作業以外の目的のため、使用または複製しないこと。また、資料、記録媒体の取り扱いについては、厳重に保管・管理し、無断で持ち出さないこと。
- ・ 受注者は、資料、記録媒体を使用する必要がなくなった場合には、速やかに破棄すること。

(8) その他

- ・ 本作業の実施にあたっては、当院担当者と十分に連絡、検討を行い、必要に応じて指示を受けるものとする。
- ・ 病院施設の性格上、搬入・設置時間、搬入経路、設置方法等は事前に当院に確認し、支障のないようにすること。本作業を行う上で必要な事項は、当院担当者と協議の上で、決定するものとし、逐次進捗状況を報告するものとする。
- ・ 本仕様書に特に明示のない事項については、当院担当者の指示によるものとする。

以上